第【　３　】学年　教科【　音楽　】　担当【　　】

１　学習目標

・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

２　使用教科書・教材

（１）教科書「中学音楽２・３下　音楽のおくりもの」（教育出版）
（２）副教材「音楽のハーモニー　２・３年下」「コーラスフェスティバル」（正進社）

３　学習内容および学習時期の目安

	単元名	学習内容（教科書項目名）
１学期（４～７月）	花、ブルタバ、器楽「箏」	曲の形式を生かして歌う オーケストラの豊かな表現を観賞する 箏の基本的な奏法を身に付ける
２学期（８～１２月）	オペラ「アイーダ」、合唱祭 短い旋律の反復を活用した音楽づくり	オペラを味わいながら観賞する 曲想を味わいながら合わせて歌う ＣＭソングをつくろう
３学期（１～３月）	歌舞伎「勧進帳」、文楽「義経千本桜」	歌舞伎や文楽の豊かな表現を観賞する

４　評価規準およびその方法

	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについての理解 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能の習得 全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている 箏の基本的な奏法を身に付ける	定期考査 実技テスト 創作作品
思考・判断・表現	歌唱表現や創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現・創作表現を創意工夫する 曲や演奏に対する評価とその根拠や、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く	定期考査 ワークシート 実技テスト 創作作品
主体的に学習に取り組む態度	歌唱表現や器楽表現、創作表現を創意工夫する学習や観賞の学習に主体的・協働的に取り組んでいる	授業・提出物・創作・実技テスト取り組みの様子 ワークシートの記述内容